

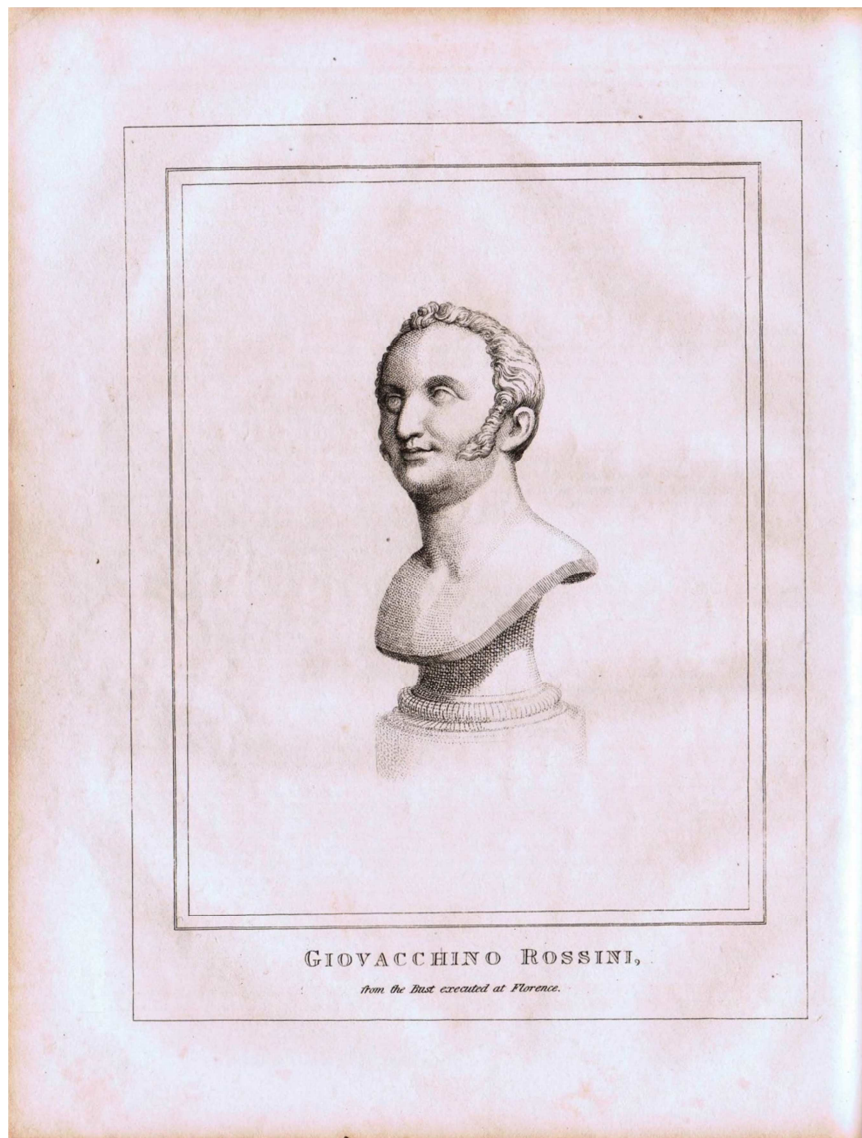
27歳のロッシェニの胸像に基づく銅版画

(水谷彰良コレクションより)

27歳のロッシェニの胸像に基づく銅版画

これは1819年にローマでスペイン人の高名な彫刻家ホセ・アルバレス・クベロ (José Álvarez Cubero, 1768-1827) が制作した大理石の胸像に基づく版画の一つで、胸像そのものは27歳のロッシェニがモデルとされている。筆者所蔵はロンドンの月刊音楽新聞『ハーモニコン (The Harmonicon, A Journal of Music)』1823年合本に挿入されたもの。サイズは『ハーモニコン』の製本に合わせて余白が裁断されて27×21.3 cm、下部記載は「GIOVACCHINO ROSSINI, from the Bust executed at Florence」。

原図は有名な版画家ラッファエッロ・サンツィオ・モルゲン (Raffaello Sanzio Morghen, 1758-1833) が1822年にフィレンツェで制作した銅版画と思われるが、モルゲンのそれは右向きで台座部分が描かれない。それゆえロンドンのそれは、不詳の版画家がモルゲンの銅版画をアレンジした可能性が高い。



27歳のロッシェニの胸像に基づく銅版画(ロンドン、1822年)